

# ～日本エチオピア協会創立40周年記念プログラム～

2011年、社団法人日本エチオピア協会は、創立40周年を迎えます。  
エチオピアとの積極的な友好と親善を求める公益法人として誕生して以来、人と人、教育・文化・経済の交流を通じて両国の市民に顔が見える活動を展開して参りました。メモリアル・イヤーである今年度は、多様なアプローチで両国間の絆をより深いものに育てます。その一環として『エチオピアのビジネスを考えるセミナー』を企画しました。どうぞ、奮ってご参加ください。

■■■ヒトにバリューを！モノにバリューを！  
日本発価値づくりからビジネスを考える@エチオピア■■■

エチオピアの優秀な人材、エチオピアの高品質な素材、それを最大限に活かすための知恵が、少しでも早く発展した日本にはあるかもしれません支援や援助とは別のやり方でエチオピアと繋がる。お互いの国の未来を真剣に考え、実践に向かう若手スピーカーを講師に迎え、エチオピアのビジネスの可能性を探ります。

日時：2011年2月26日(土) 13:00開場 13:30開演 16:00終演  
場所：JICA地球ひろば セミナールーム402

セミナー1：『情報通信技術(ICT)と途上国開発@エチオピア』  
講師 竹内 知成 (ICT for Development研究者)  
セミナー2：『エンカルを着るという選択へエチオピア発ファッションブランドの可能性～』  
講師 鮫島弘子 (デザイナー)

参加費：500円

## ≪講師プロフィール≫

### 竹内 知成 (たけうち ともなり)

應義塾大学 法学部 政治学科 卒業。

3年間ほど日本でIT営業として働いた後、青年海外協力隊に参加。エチオピアの地方の高校で、IT教師として2年間活動。エチオピアで衛星ネットワークを活用した遠隔教育の導入を目の当たりにし、ICTの途上国開発への活用に興味を抱く。

隊員活動後、在エチオピア日本大使館にて、「草の根・人間の安全保障無償資金協力」に係る業務を担当。首都から田舎の僻地まで、エチオピア中を訪れて現地NGOのプロジェクトを支援。学校建設、井戸掘削、灌漑設備修築、保健所設立等、様々な案件を担当。

その後、JICA海外長期研修員として、英国マンチェスター大学大学院へ留学。Institute for Development Policy and Managementにて「ICTs for Development」を専攻。(修士論文テーマは、エチオピアの遠隔教育について) 帰国後、JICA研修員向けSNSの立上げに携わる。現在は、JICA情報政策部システム第一課に勤務。

Blog: 「ICT for Development.jp」<http://ict4djapan.wordpress.com/>

### 鮫島 弘子 (さめじま ひろこ)

国内メーカーのデザイナーを経て、2002年、青年海外協力隊としてアフリカへ。エチオピアで現地デザイナーと協働でファッションショーを開催したり、ガーナで職業訓練校の教師・生徒たちと、地産ビーズで作ったアクセサリを扱うフェアトレードプロジェクトを立ち上げたり...といった活動を通して、現地の人々や素材が秘める高い可能性に気づき、それらを日本へ紹介したいと思うように。05年に帰国し、エチオピア発ブランド立ち上げを試みるも、ビジネススキルが足りずに挫折。06年、外資系ラグジュアリーブランドに就職。化粧品部門のマーケティングを担当しながら、ブランドビジネスを学ぶ。2011年に独立。現在、エチオピア発エンカルなハイファッションブランドの立ち上げに向けて奔走中。

Blog: <http://chimaqee.blog34.fc2.com/>

Twitter: [http://twitter.com/co\\_samet](http://twitter.com/co_samet)

お申込み・お問い合わせは、日本エチオピア協会まで。先着順、定員になり次第受付を締切ます。お申込みはお早めに。

日本エチオピア協会事務局行 ([ethiassoipn@flute.ocn.ne.jp](mailto:ethiassoipn@flute.ocn.ne.jp))

2月26日開催セミナーに参加します。(参加人数 名)

代表者氏名:

E-mail:

連絡先電話番号: